

活動報告（8月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 企画経営課・生産振興課

表題：耕畜連携の取組である飼料用トウモロコシ収穫ほ場を巡回しました

日時：令和7年8月19日（火）

場所：静岡県磐田市



【飼料用トウモロコシの収穫作業の様子】

：8月24日付け静岡新聞に掲載

8月19日（火）に、西部耕畜連携協議会が取り組んでいる飼料用トウモロコシの生産ほ場を巡回しました。

本協議会における耕畜連携の取組では、畜産農家と耕種農家が、西部地域の畜産堆肥を積極的に活用し、飼料用トウモロコシの生産拡大を目指しています。

今年度が2作目となりますが、栽培面積は29.2ha（耕種農家生産分）となり、前作の2倍まで拡大しました。

今回は、耕種農家である(株)エースが生産管理したほ場（磐田市西平松）の収穫作業に立ち会いました。

播種時期が5月14日とやや遅めであったことや、降雨が少なくかん水不足だったこと等により、生育はやや緩やかでした。

収穫作業は、畜産農家がハーベスターのオペレーターとなって行い、約3haの刈り取りは概ね1日で完了しました。

耕種農家の生産ほ場の収穫は、11月上旬に全て完了する予定です。

栄養価の高いトウモロコシ生産と面積拡大・収量アップに向けて、引き続き、農林事務所では、西部地域の耕畜連携の取組を支援していきます。